

# 市民の暮らしを守りながら 財政の再建を！！

広島市議会  
12月定例会

## 必要性の無い 巨大事業 高速5号線建設の中止こそ 収支不足の解決の道 日本共産党



一般質問に立つ村上あつ子議員＝  
12月12日、本会議

広島市は、2015年までに582億円の収支不足を解消するとして事務・事業見直しを行っています。日本共産党が「費用対効果が極めて低い」と指摘していた中工場の灰溶融炉の廃止が提案されている点は歓迎しますが、高速5号線など巨大開発を「聖域扱い」し、その一方で高齢者公共交通機関利用助成や敬老祝い金など「高齢者いじめ」の見直しを検討していることは問題です。市は、同助成の見直しの理由を「日常生活のための外出費用の軽減としても使われ、目的に則った使われ方になっていない」としています。一般質問で村上あつ子議員は、「通院や買い物も高齢者が外出する大事なきっかけではないのか」と市の姿勢をただしました。また、高速5号線は、広島駅から広島空港までわずか7分短縮するためにつくられようとしています。山陽道の渋滞等で今年のゴールデンウィークの期間中、リムジンバスは241便も欠便しており、湯崎知事は「軌道制の再考を検討する」としています。

高速5号線は、料金収入だけでは建設費が賄えず、総事業費914億円のうち175億円は一般財源（税金）を投入するという、建設前から赤字が明らかで高速道路です。二葉山にトンネルを掘ることによる地盤沈下や、土砂災害の危険性を訴える住民の不安にも何ら応えていません。村上議員は「必要性も採算性も安全性もない高速5号線こそ、事務・事業見直しの第一候補であり、きっぱり中止すべき」と市長に迫りました。市は、「広島高速5号線トンネル安全検討委員会の結果を踏まえ、県・市において適切に事業判断をしていく」とのこれまでの答弁を繰り返すにとどまりました。

### 広島駅自由通路には127億円 「急ぐ必要はない」 日本共産党は反対

本議会には、総事業費127億円の広島駅自由通路の22年間の債務負担行為が提案されました。広島駅ビル（アッセ）と新幹線口を結ぶ自由通路及び橋上駅を建設するのですが、事業費は市が9割、JRが1割の負担割合で、税金でJRの駅舎を造るようなものです。しかも、将来駅ビルを建て替える際、せっかく建設した通路の一部を壊すという、こんな税金のムダづかいはありません。日本共産党は、「今急いで建設する必要はない。どうしても必要な駅ビルの建替えまで待つべきだ」と議案に反対しました。

※複数年度にわたる事業で、契約によって発生する債務の負担をあらかじめ設定しておくこと。



広島駅自由通路等の位置図

### 「黒い雨」調査資料 全面公開を

日本共産党市議会議員団は11月16日、放射線影響研究所（放影研）が「黒い雨」の人体影響に関する1万3千件のデータを保管していたことについて、早急に公開するよう放影研と市に対して申し入れを行いました。

また、国においては「黒い雨」の検討会にデータを提出すべきだと主張しました。

- 全会一致で可決・採択しました
- 私学助成についての陳情
  - 介護従事者の人材確保と処遇改善のため一層の取組強化を求める意見書



第78号 2012年1月・2月  
発行/日本共産党広島市議会議員団  
〒730-8586 広島市中区国泰寺町1丁目6-34 (市議会内)  
TEL 082-244-0844 FAX 082-244-1567  
Eメール k-shigi@jcp-hiro-shigi.jp

この議会報告は政務調査費を使って作成しています。





## 文教委員会 弱視特別支援学級に エアコン整備を

弱視特別支援学級の生徒は、まぶしさ  
を避けるため暗幕を使い、10センチ以内  
の距離に顔を近づけて勉強するため、エ  
アコンがない夏休みの補習は過酷です。  
中原ひろみ議員は、単独で早急なエア  
コン整備を要求。市は来夏、現場に向  
き、温度と環境の実態調査し、適切に対  
応すると答弁しました。



中原ひろみ議員  
事務所 890-2266

## 総務委員会 松井市長のもと 平和の取り組み後退

市長は、事務事業の見直しで「平和宣  
言」を解説する冊子と、内容を練り上げ  
る平和問題懇話会を今年度で廃止する方  
針を発表。核兵器廃絶と内部被曝の実相  
解明を求めるヒロシマの役割を低下させ  
るのではと危惧されます。  
中原議員は、心に響く「平和宣言」に  
するために事業の継続を求めました。

## 建設委員会 住民の反対を無視した やり方に抗議

高速5号線二葉山トンネル建設予定地  
のボーリング調査をめぐり、行政への不  
信が強まっています。  
村上あつ子議員は「高速1号線の地盤  
沈下の検証は終わっていない。ボーリン  
グ調査はその後だ」と市の強引なやり方  
に厳しく抗議。また、安全検討委員会の  
民主的な運営を求めました。

## 経済環境委員会 「広島市情報サービス」 倒産で12億円の損失

市が筆頭株主の(株)広島市情報サー  
ビスが来年1月末で解散することにな  
り、市は12億円の損失を被ります。  
会社が設立して22年、これまで市の

貸付金で自  
転車操業し  
てきました  
が、もった  
早く決断し  
ていれば7  
〜8億円の  
貸付金は、  
市民生活に  
まわせたは  
ずです。



村上あつ子議員  
事務所 261-5116

## 厚生委員会 高齢者交通費助成見直しは 「福祉の心」を削るもの

近松さと子議員は「バスカードがパス  
ピーになったため、四苦八苦して申請した  
が、もうなくなるのか」との怒りの声と  
もに、高齢者の厳しい生活実態を知らない  
ものだと言及。市は見直しはするが廃止は  
しないと答弁しました。  
また、「来年度、年金が減ろうかとい  
うとき、交通費助成削減となれば、消費を控  
えることになり、景気動向にも水を差すこ  
とになるのではないかと指摘しました。



近松さと子議員  
事務所 221-0708

## 消防上下水道委員会 26年間、カラの貯水タンク いよいよ撤去へ

安芸区船越町岩滝山の水道局の貯水タン  
クは、昭和47年に建設し、同60年に休止  
以来、26年が経過。かねてからタンクや  
その上の岩の転落を心配する地域住民らが  
撤去を求めています。  
市は、地形測量、撤去工事の設計業務委  
託等を予定していると答弁しました。



## 市民の声をとどけ

### 今年もがんばります



## 子どもたちを放射能から守って 請願

12月議会には、脱原発や食品・がれき・セメント  
等への放射能汚染の拡大防止を求める請願が出され  
ました。国や電力会社による安全神話のもと、事故  
を想定した対策がとられてこなかったことが、震災  
後の混乱に拍車をかけています。

先日も粉ミルクから放射性物質が検出されまし  
た。国が定める暫定基準値以下とはいえ、小さい子  
どもは大人の3倍の感受性が指摘されており、保護  
者を中心に不安はおさまりません。

また、高い放射線量の汚泥の焼却灰がセメント原  
料に使われ、さらに、国は、汚染がれきの処理を自  
治体に押しつけようとしています。

日本共産党は、市として国に対し、信頼できる食  
品の基準を示し、検査体制を強化して、汚染された  
汚泥やがれきの管理を求めるよう主張しました。

## 委託業務に最低制限価格制度を導入

厳しい経済情勢のもと、業者間で激しい競争が続き、2010年  
度は市が委託する業務の約半数が調査基準価格を下回る低入札  
となり、なかには予定価格の3割を切るものもありました。

日本共産党は、2010年度の決算審議で、余りにも低い入札は  
賃金低下だけでなく、業務を適正に遂行する保障も失うと指摘  
し、適正な価格で入札できる制度へ見直すよう求めました。

そうしたなか、12月議会において、建物清掃・常駐警備・冷  
暖房設備等の運転管理・家庭ごみ収集運搬業務の委託業務に、  
最低制限価格制度(予定価格の3分の2)が導入されることにな  
りました。議会内では、最低制限価格を公表すると入札価格が  
同額になり「くじ引き」入札が増えるだけとの意見もありまし  
たが、この改善によって、公共・公務労働に携わる人の賃金水  
準が上がり、安心して働ける職場になることが期待されます。